



ヒマラヤ越え ～困難を乗り越える力～

校長 松山 大作

あけましておめでとうございます。保護者、地域の皆さんにおかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと存じます。皆さんにとりまして健康で幸多き一年となりますことを心より願っております。

先日、ツルの飛来の多さで有名な鹿児島県の出水(いずみ)平野の様子を映像で見る機会がありました。28季連続で1万羽を超えるツルが越冬のためにシベリアから渡来て来るそうです。その数と種類の多さは日本一と言われており、他では見ることのできない「冬の風物詩」になっています。優雅に翼を広げ大空を美しく羽ばたくツルの姿は実に感動的です。

そのツルの中にアネハヅルがいました。本来は、インドが越冬地であるそうですが、天候や風向きの影響で飛行ルートを外れたのでしょうか。2020年以来、5年ぶりの飛来となるとても珍しい種のツルだそうです。

このアネハヅルは、全長1メートル足らずと小柄であり、世界で最も小さなツルです。そのため、平らな場所では高く飛ぶことができません。それにもかかわらず、数百から千羽がV字に並んで、上昇気流を利用して高さ8000メートルものヒマラヤの峰に次々と挑んでいくそうです。激しい逆風に押し戻されても決して諦めず、何度も何度も挑戦を繰り返し、遂にはヒマラヤの山々を越えてみせるのです。上空の気温は氷点下30度、酸素濃度は地上の3分の1というとても過酷な環境での決死の大飛行です。しかも群れの中には今年生まれたばかりの若鳥もいます。大人のツルは風の抵抗を最も受けるV字の先頭を交代しながら、体力のない若鳥を守るように飛び続けます。ヒマラヤ山脈を悠々と越えていく姿からは、「親鳥の深い愛情」と「困難を乗り越える若鳥の力強さ」を感じます。

アネハヅルのヒマラヤ越えは、変化の激しい社会を力強く生き抜く子どもたちの姿と重なります。どんなに困難な状況に直面しても、決して諦めず、自ら考え、行動し、自分の進むべき道を見付け出す力—これこそこれからのお子さんたちに必要な「たくましく生きる力」です。この力を育むためには、学校での基礎的な学力や良い生活習慣の定着が重要です。そして、その実現には、大人による「温かい励まし」と「深い愛情」という追い風が不可欠となります。この追い風こそが、子どもたちにとっての上昇気流となり、困難な山(ヒマラヤ)に果敢に挑む原動力となると考えています。

教育とは、子どもたちが未来へと羽ばたくために、共に協力し合いながら成長を促す「協育」です。これからも困難な状況が続く社会が予想されますが、学校・家庭・地域がしっかりと連携し、子どもたちの可能性を最大限に引き出す上昇気流として、力強く支援していきたいと思います。

3学期も、本校教育スローガン「輝く瞳 豊かな心 笑顔あふれる学校」を掲げ、教職員一丸となって努力してまいります。皆さんには、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。



転出入の情報提供のお願い

年度末までに転出を予定しているご家庭がありましたら、至急学校までお知らせください。また、本校への転入の情報がありましたらお知らせください。どうぞよろしくお願ひいたします。

子どもたちがよりよい生活を送れるように

長期休み明けは子どもたちの心が不安定になります。「子ども見守りシート」も活用し、ご家庭でのお子さんの様子で気になることがありましたら、学校にご相談ください。(ホームページから印刷可)子どもたちがよりよい生活を送れるよう、早期対応・早期解決をするため、子どもたちに関わる全ての大人が連携しながらすすめていきます。

不登校をテーマとした保護者サロン

教育委員会では不登校の子どもたちを支援するために、保護者対象の講演会を実施しています。講演の中で小グループに分かれ、参加者の皆さん同士で日頃感じている思いや悩みを語り合う時間も予定しています。どうぞお気軽にご参加ください。

- 1 対 象 市内在住で小・中学生の保護者
- 2 日 時 令和8年2月 24日(火) 午後2時から午後4時30分
- 3 会 場 八王子市教育センター 大会議室
- 4 内 容 講演「不登校の子どもたちへの対応のヒント」
講師 八王子市心理相談員
- 5 定 員 60名(先着順)
- 6 受付開始日 令和8年2月1日(日)
2次元コードからお申し込みください。
- 7 問合せ 教育指導課登校支援担当電話：663-3216

